

祝

富士見町町制50周年

町制施行50周年を迎えて



富士見町長
矢嶋民雄

富士見町は昭和30年4月1日に、旧富士見村、本郷村、落合村、境村が合併して町制を施行し、50周年を迎えることができました。この50年の歳月には、人口の減少など幾多の課題がありました。先人の方々や町民の皆様方のご努力により、農業、商工業、観光等の調和のある町に築き上げてきま

した。

21世紀は、私たちがかつて経験したことのない転換期に直面しており、自治体を取り巻く大変厳しい状況の中で、自立を選択した本町も抜本的な改革が求められています。大きく膨らんだ行政のあり方を一つ一つ点検して、自分たちで生き抜いていく知恵を働かしていくこととなります。また、急速に変化する社会環境に柔軟に対応しながら、魅力ある町づくりを図ることも取り組んで行かなければなりません。一人一人の顔が見える町づくりを丁寧に進めていくこととなります。

この50周年を契機に、町民の皆様方の英知と力を結集して、個性豊かな魅力ある「世界に展かれた高原の文化都市」を目指して、更に努力を重ねていかなければなりません。



町の木 しらかば



町の花 すずらん

富士見町のデータ

位置	北緯 35度 54分 東経 138度 14分
標高	977 m
面積	144.37 km ²
世帯数	5千578戸 (平成17年3月1日現在)
人口	1万5千559人 (平成17年3月1日現在)
町の花	すずらん
町の木	しらかば

富士見町誕生の経過

昭和28年当初、富士見、本郷、落合、境の四カ所が合併し一村にするが、富士見と本郷、落合と境とそれぞれ二カ所合併するかが検討された。話し合いと先進地視察の中で、四カ村合併の方向が強ま

り、落合、境村は中学校の二校制を合併の条件として打ち出した。翌29年1月、四カ村の合併基本事項もまとまり4月1日合併を目標に準備をしたところ、富士見村が四カ村合併反対を決定。富士見村の反対理由は、四カ村合併はメリツトがない、合併計画から境村を除く、組合立富士見中学加入の三村の範囲内とする、理想は本郷村との二カ村合併、などであった。これに対し落合、境村は、四カ村合併、中学校二校制の基本線をくずさず、一方、富士見村は中学校一校制ならば四カ村合併を認めるとし一年にわたって争った。昭和30年1月になり、諏訪地方事務所長らの行政指導で富士見村も譲歩し、同年4月1日「富士見町」が誕生した。

富士見町50年の歩み

- 昭和30年 富士見村、本郷村、落合村、境村が合併、現在の富士見町が誕生
- 昭和31年 町役場新庁舎完成
- 昭和33年 落合、境中学校を統合、南中学